

東京同友会渋谷支部文化企画平和例会

オバマ広島訪問の

歴史的意義と課題



2016年5月27日、第44代アメリカ大統領のオバマ氏が、現職の大統領としては初めて、被爆地・広島を訪問しました。戦後71年、今回のオバマ広島訪問はどのように評価されるのか、日本の安全保障と沖縄基地問題も絡め、新外交イニシアティブ事務局長で日米外交問題に詳しい猿田佐世氏からお話を伺います。これからの平和について、みなさんと一緒に考えましょう。



●報告者プロフィール

猿田 佐世 氏 (新外交イニシアティブ事務局長・弁護士)

早稲田大学卒業、2002年弁護士登録。2008年コロンビア大学ロースクールにて法学修士号取得。2009年米国ニューヨーク州弁護士登録。2012年アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決修士号取得。ワシントン在住時から現在まで、各外交・政治問題について米議会等でロビーイングを行う他、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。2015年6月の沖縄訪米団、2012年・14年の二度の稲嶺進名護市長の訪米行動の企画・運営を担当。米議員・米政府面談設定の他、米シンクタンクでのシンポジウム、米国連邦議会における院内集会等を開催。



●ファシリテーター

原 知良 氏 (弁護士・東京中小企業家同友会理事。)

早稲田大学法学部卒、1995年弁護士登録。2007年パートナーズ法律事務所設立。中小企業の法律・経営問題、海外進出の援助に力を注ぐ。

- ◆定員: 40名
- ◆参加費: 2000円
- ◆場所: 東京同友会会議室(市ヶ谷)
- ◆主催支部: 渋谷支部
- ◆日時: 8月15日(月)18:30~21:00

***お気軽にご参加ください！**

＜東京同友会渋谷支部文化企画平和例会出欠返信欄＞

○8月15日平和例会に参加します。返信 FAX 03-3261-7202

貴社名

お名前